

パソコンとの連携 (ActiveSync)

ActiveSync を使うと同期やファイルのコピーなど以下のことができます。

- ・ パソコンの Microsoft Outlook と本製品の予定表や連絡先などのデータを同期します。たとえば、本製品の予定表を外出先で変更してもオフィスのパソコンと同期すると、データを比較し古いデータを新しいデータに更新します。
- ・ 本製品とパソコン間でファイルやフォルダをドラッグ&ドロップでコピーできます (☞8-14 ページ)。
- ・ Word Mobile や Excel Mobile のデータとパソコンの Word や Excel のデータを同期します (☞8-15 ページ)。
- ・ パソコンで表示したホームページの URL を本製品に転送することができます (☞8-16 ページ)。

ここでは、ActiveSync の基本的な使いかたについて説明します。

ActiveSync の設定や使用方法についてくわしくは、ActiveSync のヘルプや、付属の CD-ROM の中にある ActiveSync の Readme.doc をご覧ください。

MEMO

- ・ パソコンの Word や Excel のデータを Word Mobile や Excel Mobile のデータに変換したとき、Word Mobile や Excel Mobile がサポートしていない書式や機能などは反映されません。

パソコンの動作環境について

ActiveSync をインストールする前にパソコンの環境を確認します。
データ通信用のドライバをインストールするときのパソコンの環境は、8-20 ページをご覧ください。

OS

- ・ Microsoft Windows XP Professional (Service Pack 1 および 2)
 - ・ Microsoft Windows XP Home (Service Pack 1 および 2)
 - ・ Microsoft Windows 2000 Professional (Service Pack 4)
- ※これ以外の OS については、付属の Getting Started CD に収録されている「readme.doc」やマイクロソフトのホームページ (<http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/>) をご覧ください。

アプリケーション

- ・ Microsoft Outlook 98 以降
受信トレイ、予定表、連絡先、仕事などと同期するために必要
- ・ Microsoft Internet Explorer 5.01 以降

ハードディスク空き容量

- ・ 12 ~ 65MB

その他

- ・ USB ポート
- ・ CD-ROM ドライブ
- ・ 256 色以上の VGA グラフィックスカードまたは互換性のあるビデオグラフィックスアダプタ
- ・ キーボード
- ・ Microsoft マウスまたは互換性のあるポインティングデバイス

オプション

- ・ Microsoft Office 97、Microsoft Office 2000、Microsoft Office 2003、Microsoft Office XP
- ・ 音声用オーディオカード／スピーカー

! **ご注意** • 次のようなパソコンでの動作は保証できません。

- ・ 自作パソコン
- ・ OS をアップグレードしたり入れ替えたパソコン
- ・ ご自分で追加した USB ポートをお使いのとき
- ・ USB ハブなどを経由した接続のとき
- ・ パソコンに本製品以外の USB 機器が接続されているとき

ActiveSync をインストールする

ActiveSync をインストールする前にお読みください

ActiveSync をインストールする前に、ここに記載していることを確認してください。

確認した後、インストールを行ってください。

- ① Outlook をインストールして、使用状態 (☞ 下記) にしてください。なお、Outlook Express とは同期できません。

! ご注意 • ActiveSync をインストールした後で Outlook をインストール／使用できる状態にしても、すぐには使えません。まず、Outlook をインストールして使用できる状態にしてください。

Outlook を使用状態にする

Outlook をインストールした後、Outlook の「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「その他」タブをクリックします。「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」チェックボックスを付けた後、Outlook に連絡先や予定表などのデータを入力すると使用状態になります。



Outlook2000 をお使いの場合は、パソコンの“Internet Explorer”を起動し、「ツール」メニューの「インターネットオプション」をクリックし、表示された画面の「プログラム」タブをクリックして「電子メール」を「Microsoft Office Outlook」にします。

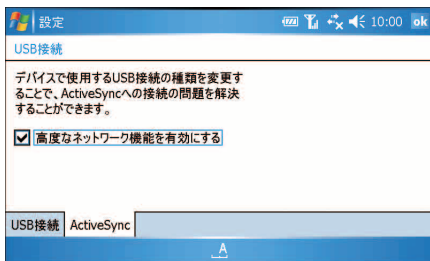
- ② ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどをインストールしているときは、それらを停止／無効にしてください。
停止方法などについては、ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトの説明書などをご覧ください。
- ③ Intellisync など他の同期ソフトウェアや常駐ソフトウェアをインストールしているときは、それらを停止するかアンインストールしてください。
- ④ Windows Media Player と同期するときは、Windows Media Player 10 をインストールしてください。
古いバージョンの Windows Media Player とは同期できませんので、ご注意ください。

MEMO • ActiveSync をアンインストールするには

[スタート] メニューから「プログラムのアクセスと既定の設定」を選び、「プログラムの追加と削除」画面で「プログラムの変更と削除」をクリックした後、「Microsoft ActiveSync」を選んで [削除] をクリックします。表示される画面の指示に従ってアンインストールします。

1 本製品の通信モードを ActiveSync ができる設定にします。

- 1 **スタート** メニューの  “**設定**” をタップし、**接続** タブをタップします。
- 2  “**USB 接続**” の **USB 接続** タブで「**PC と同期する (ActiveSync)**」にチェックを付けます。
- 3 **ActiveSync** タブをタップし、「**高度なネットワーク機能を有効にする**」にチェックが付いていることを確認し、**ok** をタップします。



4 本製品の電源が自動的に切れないように設定しておいてください (P.10-21 ページ)。

2 付属の Getting Started CD をパソコンにセットします。しばらくすると、次の画面が表示されます。

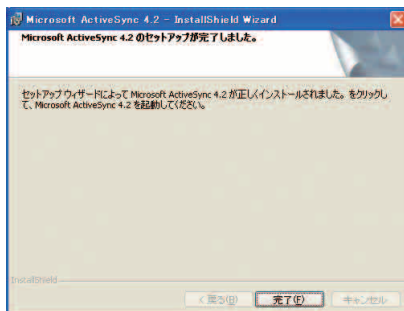


MEMO

- ここでは、Windows XP の画面で説明しています。Windows 2000 Professional では画面の形状が一部異なりますが、基本的な操作のしかたは同じです。

3

【次へ】をクリックし、下記の画面が表示されるまで画面の指示にしたがってインストールします。

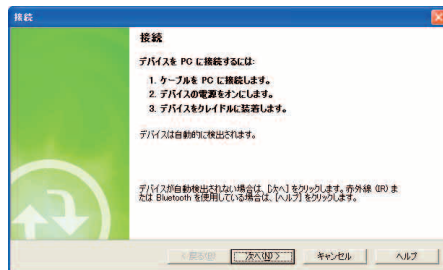


4

【完了】をクリックします。
パソコンの再起動を行う画面が表示されたときは【はい】をクリックし、再起動します。

5

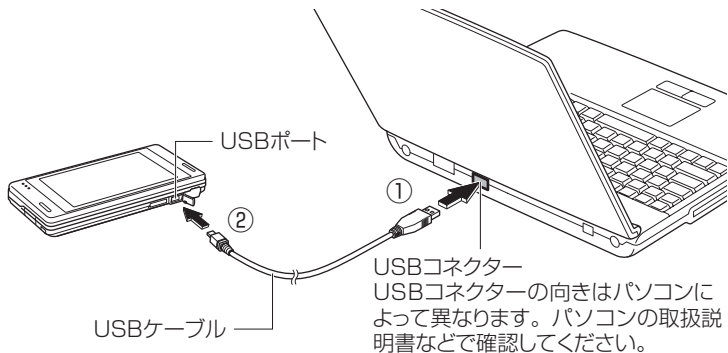
しばらくすると「接続」画面が表示されます。



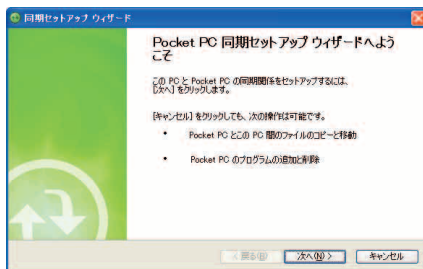
6

上記画面が表示された状態で、①、②の順でパソコンと本製品を付属の USB ケーブルを使って接続します。

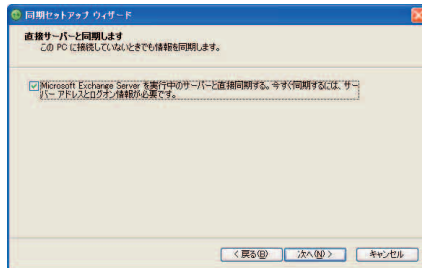
- ！** **ご注意** • USB ケーブルは、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。USB ハブや USB 延長ケーブルを使って接続すると正しく動作しないことがあります。
- パソコンと接続するときは、本製品に AC アダプタを接続するか電池残量が十分であることを確認してください。



7 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。



- お使いのパソコンが Microsoft Exchange Server に接続しているときは前ページの手順 **7** の後、「直接サーバーと同期します」画面（以下の画面）が表示されます。



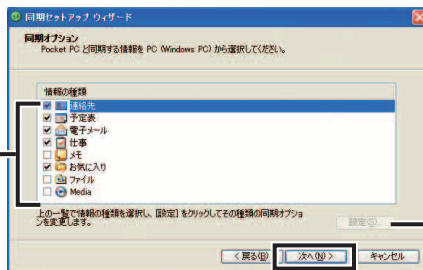
- ・ Microsoft Exchange Server と直接同期しないときは、「Microsoft Exchange Server を実行中のサーバーと直接同期する」のチェックを外し、[次へ] をクリックします。
- ・ Microsoft Exchange Server と直接同期するときは、「Microsoft Exchange Server を実行中のサーバーと直接同期する」のチェックを付け、[次へ] をクリックします。

次に表示された画面でサーバー情報やログオン情報などを設定し、[次へ] をクリックすると、手順 **8** に進みます（手順 **8** の画面では Exchange Server との同期が行われます）。入力する情報については、ネットワーク管理者にご確認ください。

また、ネットワーク環境によっては別の画面が表示されることもありますので、ネットワーク管理者におたずねになり、画面にしたがって操作してください。

8





「同期オプション」画面が表示されたら、同期する項目にチェックを付けて [次へ] をクリックします。



同期する項目にチェックを付けます。

「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。


MEMO

- 「ファイル」を選択すると「ファイルの同期」メッセージが表示されます。パソコンと同期する場合は、[OK] をクリックしてください。この「ファイル」は、同期するためのものです（[図8-15 ページ](#)）。パソコンと本製品のファイルをコピーするときは、ファイルのコピー（[図8-14 ページ](#)）を行います。
- Windows Media Player10 と音楽ファイルを同期するときは、 Media の項目にチェックを付けセットアップを完了したあと手動で行います。
 -  Media を選択すると「メディアの同期」画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。

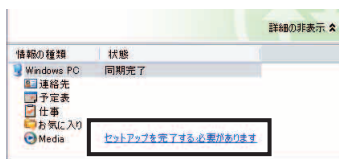
9 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードの完了」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

しばらくすると自動的に同期が開始されます。同期が終了すると、「ActiveSync」画面内に「接続完了」が表示されます。

手順8で  Media の項目にチェックを付けていないときは、手順9で終了です。

 Media の項目にチェックを付けているときは、手順10以降を行います。

10 Windows Media Player 10 と同期する場合（手順8で Media にチェックを付けた場合）は、ActiveSync 画面内の Media の右横の「セットアップを完了する必要があります」をクリックします。



11 表示された確認画面で「はい」をクリックします。

Windows Media Player 10 が起動します。

12 Windows Media Player 10 で「同期」タブをクリックし「同期の設定」をクリックします。


13 表示された画面で、「手動」を選択し [完了] をクリックします。

14 画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「同期の開始」をクリックします。



Windows Media Player と同期が始まります。

ActiveSync をインストールできないときや同期できないときは、8-18 ページをご覧ください。

MEMO

- 手順 **13** で「自動」を選択すると音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが自動的に Windows Media Player と同期しますので、「手動」を選択することをおすすめします。
一度「自動」を選択した後は、必要に応じて同期する項目を選択することができます。くわしくは Windows Media Player 10 のヘルプをご覧ください。
- ActiveSync インストール後に  Media など同期する項目を変更するときはパソコンと本製品を接続した状態で ActiveSync 画面の「ツール」メニューの「オプション」を選択します。
8-8 ページの手順 **8** の「同期オプション」画面が表示されますので項目のチェックを付けたり外したりします。

ActiveSync を使って同期する

- 1** **スタート** メニューの  “設定” をタップします。
- 2** 設定画面で **接続** タブをタップし、 “USB 接続” をタップし、**USB 接続** タブで「PC と同期する (ActiveSync)」にチェックを付けます。
- 3** **ActiveSync** タブをタップし、「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックが付いていることを確認します。
8-18 ページの方法で接続するときは、**ActiveSync** タブで「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外します。
- 4** **ok** をタップします。
!ご注意 • 本製品とパソコンを同期するときは、必ず手順 **1** ~ **4** を行ってください。
手順 **2** の USB 接続の設定が「モデムとして使用する」にチェックが付いていると、同期できません。
- 5** 本製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。
自動的に同期が始まります。
本製品とパソコンを接続した状態では、本製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。

MEMO ● 手動で同期するときは、次の方法で行います。

パソコン側から同期を実行する

- 1 ActiveSync の [ファイル] メニューの [同期] をクリック、または [🔄同期] をクリックします。

本製品側から同期を実行する

- 1 [スタート] メニューの 📁プログラム” をタップし、プログラム画面で 🔄 “ActiveSync” をタップします。
 - 2 画面左下の [同期] をタップします。
- 本製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください (☞ 8-27 ページ)。

! ご注意 ● パソコンとデータを同期する際、本製品の以下の設定は「デバイスのアイテムを置き換える」のままご使用ください。この設定は、1 度同期した後、本製品とパソコンを USB ケーブルで接続していないときに操作できます。
[メニュー] - [オプション] - [設定] をタップした「競合が発生した場合」の設定

同期をするときの設定を行う

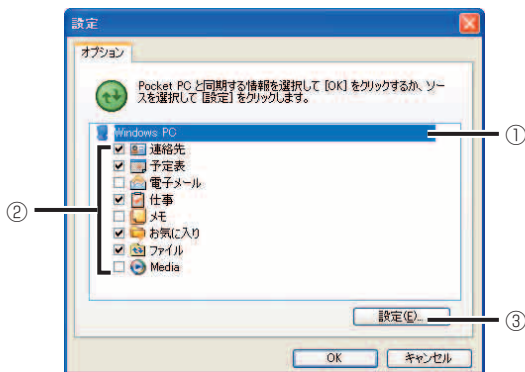
同期を行うときにどのアプリケーションと同期を行うのかを設定できます。

- 1 パソコンと本製品を接続し、パソコン側の ActiveSync 画面で、「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。

設定画面が表示されます。

- 2 同期に関する設定を行います。

同期するアプリケーションの設定など行います。



設定画面に表示される「📁 ファイル」は、ファイルを同期するためのものです（[8-15 ページ](#)）。

パソコンに保存しているファイルを本製品にコピーしたり、本製品のファイルをパソコンにコピーするときは、[8-14 ページ](#)の方法（ファイルのコピー（ドラッグ＆ドロップ））で行ってください。

- ① 同期するパソコン名（フレンドリ名）が表示されます。

「設定」をクリックするとフレンドリ名の変更やパソコンで設定されている日時を本製品に同期させることができます。

- ・パソコンで設定されている日時を本製品に同期させるときは

「接続時に Pocket PC の日時を同期する」にチェックを付けて同期操作を行ってください。

- ② 同期するアプリケーションにチェックを付けます（チェックを外すと同期されません）。

- ③ 「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。

（[次ページ](#)）

予定表／電子メールなどの設定を行う

予定表や電子メールなどを同期するとき、同期する期間（たとえば、過去 2 週間と未来の予定）やメールのサイズ制限などができます。

以下のプログラムに対して設定ができます。

- ・ 予定表
- ・ 電子メール
- ・ お気に入り
- ・ ファイル

1 パソコン側の ActiveSync 画面で「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。

設定画面が表示されます。

2 予定表、電子メール、お気に入りのいずれかを選択し、[設定] をクリックします。

3 表示された同期設定画面で、同期する期間などを設定します。

- ・ 予定表 : 同期する予定の期間を設定します。
- ・ 電子メール : 同期する期間やサイズ、添付ファイルも含めて同期する／しないを設定します。
- ・ お気に入り : 同期する URL を選択／削除します。
- ・ ファイル : 同期するファイルを設定します。8-15 ページの「ファイルを同期する」で同期フォルダに入れたファイルと連動します。

MEMO

- 予定表やメールを同期するとき、期間やサイズ制限などの設定によって同期できないデータがあります。同期した後、同期していないデータがあるときは、上記の手順 2 で確認してください。

ファイルをコピーする

パソコンと本製品の間で相互にファイルをドラッグ&ドロップでコピーできます。

MEMO • パソコンから本製品に Microsoft Excel ファイルや Microsoft Word ファイルをコピーすると外出先などでもファイルの内容を確認できます。

1 パソコンと本製品を接続します。

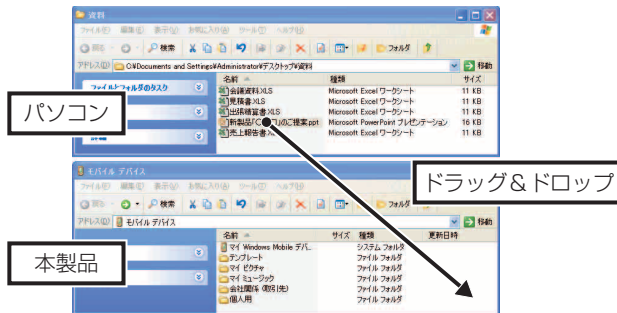
2 パソコン側の ActiveSync 画面で、**[🔍️エクスプローラ]** をクリックします。

「モバイル デバイス」ウィンドウが開き、本製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

3 パソコンのウィンドウを表示し、パソコンに保存しているファイルやフォルダを表示します。

4 コピーしたいファイルを一方のウィンドウからもう一方のウィンドウにドラッグ&ドロップします。

ドラッグ&ドロップしたファイルがコピーされます。




5 「モバイル デバイス」ウィンドウの右上の **✕** をクリックしてウィンドウを閉じます。




6 パソコンと本製品を取り外します。

! **ご注意** • パソコンから本製品を取り外すとドラッグ&ドロップしてもコピーされません。

ファイルを同期する

パソコンのファイルと本製品のファイルを同期できます。
同期するには、同期フォルダを利用します。

- 1 パソコンのデスクトップに同期フォルダ () が表示されていることを確認します。


MEMO • 同期フォルダ () が表示されていないときは、「同期をするときの設定を行う」( 8-12 ページ) を参照して、「 ファイル」にチェックを付けて同期設定してください。

- 2 同期したいファイルを同期フォルダに入れます。

- 3 本製品とパソコンを接続します。

同期フォルダ内のファイルを同期し、パソコンと本製品で同じ内容のファイルを持つようになります。


! **ご注意** • Microsoft Word や Microsoft Excel などのファイルを同期するとき
Microsoft Word や Microsoft Excel は、Word Mobile や Excel Mobile に比べて多くの機能を持っています。このため、同期時にパソコン上の同期フォルダ内の Word や Excel ファイルから Word Mobile や Excel Mobile などが持っていない機能が削除されます。


MEMO • 本製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください ( 8-27 ページ) 。


お気に入りと同期する

パソコンで表示したホームページやパソコンに取り込んでおいたホームページの URL を、本製品に転送することができます。

- 1 パソコンの Internet Explorer の「お気に入り」メニューの中に「モバイルのお気に入り」フォルダが作成されていることを確認します。

MEMO • 「モバイルのお気に入り」フォルダが表示されていないときは、「同期をする
ときの設定を行う」(☎8-12 ページ) を参照して、 お気に入り
にチェックを付けて同期設定してください。

- 2 パソコンでホームページを表示し、「お気に入り」メニューの「お気に入り
に追加」をクリックします。表示されたお気に入りの追加画面で、「
モバイルのお気に入り」をクリックして選択し、[OK] をクリックします。

MEMO • お気に入りの追加画面に「
モバイルのお気に入り」が表示されていない場合は、お気に入りの追加画面の
[フォルダ] をクリックしてフォルダリストを表示させます。

- 3 本製品とパソコンを接続します。

追加したお気に入りの本製品に転送されます。

転送されるのは、モバイルのお気に入りフォルダに追加したホームページの URL のみです。実際にホームページを閲覧するときは、インターネットに接続する必要があります。

MEMO • パソコンの Internet Explorer の「ツール」メニューの「モバイルのお気に入り
の作成」をクリックしても「モバイルのお気に入り」に追加されず。
• 本製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください (☎8-27 ページ)。

他機種 of データを本製品に移す

他機種からデータを移すには、ActiveSync の同期を使って行います。「他機種の予定表や連絡先などのデータ」と「パソコンの Microsoft Outlook のデータ」を同期したあと、そのパソコンと本製品を同期します。

- **他機種で ActiveSync をインストールしてお使いの方**
インストールしている ActiveSync を使ってこの機種と同期することでデータを移行できます。同期する項目を確認して、同期を行ってください。
- **他機種で ActiveSync をインストールされていない方**
ActiveSync をインストール (☞8-4 ページ) したあと、データを移します。

1 8-4～10 ページをご覧くださいになり ActiveSync をインストールします。

インストール時、手順 **8** で、「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」、「メモ」、「お気に入り」にチェックを付けます。

2 インストール後、他機種とパソコンを接続して同期します。

Microsoft Outlook と他機種との間で同期が行われ、Microsoft Outlook と他機種のデータが同じ状態になります。

3 本製品とパソコンを接続して同期します。

Microsoft Outlook と本製品との間で同期が行われます。本製品に何もデータが入っていない状態では、Microsoft Outlook のデータが本製品に移りません。

インストールや同期ができないときは

ActiveSync をインストールできないときや同期できない、エラーメッセージが表示されるときは、以下の内容をご確認ください。

8-5 ページの方法でインストールしたあと同期できないときは

USB 接続（**ActiveSync** タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して接続してみてください。

下記の手順をご覧になり、操作を行ってください。

「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外しても同期できないときは

11-8 ~ 11 ページの「困ったときは」をご覧になり確認してください。

どうしてもインストールや同期ができないときは

Outlook を使える状態にしても同期できないときや 11-8 ~ 11 ページに記載している方法でも同期できないときは、Outlook と ActiveSync をいったんアンインストールしてください。その後 Outlook をインストールし使える状態にして、ActiveSync をインストールしてみてください。

USB 接続（**ActiveSync** タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して接続する

8-5 ページの方法でインストールしたあと接続できないときは、USB 接続（**ActiveSync** タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して試してください。

- 1 パソコンから本製品を取り外します。
- 2 本製品の USB 接続（**ActiveSync** タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外し、**ok** をタップします。
- 3 パソコンと本製品を接続します。

- 4 「Pocket PC 同期セットアップウィザードへようこそ」画面 (図 8-7 ページの手順 7) が表示されますので、8-7 ページの手順 7 以降をご覧ください。